



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月1日

上場会社名 イビデン株式会社

上場取引所 東名

コード番号 4062 URL <http://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹中 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 佐野 尚

TEL 0584-81-3111

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	65,505	△11.8	1,254	△66.6	△1,276	—	△1,584	—
28年3月期第1四半期	74,276	3.5	3,758	7.7	4,111	33.2	2,797	29.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △26,844百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 9,454百万円 (606.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	△11.90	—
28年3月期第1四半期	20.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第1四半期	435,890	301,998	68.3	2,237.47
28年3月期	476,110	331,520	68.8	2,459.63

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 297,766百万円 28年3月期 327,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 平成29年3月期の配当予想につきましては未定であります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	137,500	△13.1	1,000	△91.9	△2,000	—	△4,000	—	△30.06
通期	288,000	△8.3	6,000	△73.4	1,500	△92.8	△3,000	—	△22.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	140,860,557 株	28年3月期	140,860,557 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期1Q	7,778,692 株	28年3月期	7,778,279 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	133,082,071 株	28年3月期1Q	138,084,595 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「(3)連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、好調な米国経済及び堅調な欧州経済に支えられ、全体としては緩やかな成長が続きましたが、中国、新興国経済の減速に加え、欧州における英国のEU離脱問題等により、先行きに対する不透明感が強まりました。国内経済は、個人消費や企業収益に足踏みが見られたものの、総じて緩やかな回復基調をたどりました。

半導体・電子部品業界のスマートフォン・タブレット市場におきましては、北米及び欧州市場の減速により、市場全体の成長が鈍化傾向にあります。また、パソコン市場におきましても、前年対比でマイナス成長が続いており、当社の電子事業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

自動車排気系部品業界におきましては、欧州及び中国の自動車市場で緩やかな成長が続いたことから、世界の自動車販売は底堅く推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは中期経営計画において、事業環境の変化に対応し、次の100年に向けて、永続的に事業を継続し成長させるための企業体質づくりと、電子事業以外に、セラミック事業及びその他事業を合わせた、3つの事業セグメントによる安定的な収益構造の実現を目指した各事業の競争力強化の活動に取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は655億5百万円と前年同期に比べ87億70百万円（11.8%）減少しました。営業利益は12億54百万円と前年同期に比べ25億4百万円（66.6%）減少しました。経常損失は12億76百万円（前年同期は41億11百万円の経常利益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失に関しましては15億84百万円（前年同期は27億97百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

電子事業

電子事業の市場におきましては、パソコン市場が引き続き低迷したことに加え、スマートフォン・タブレット市場の成長が引き続き減速したことにより、電子事業の売上高は260億11百万円となり、前年同期に比べ22.6%減少しました。同事業の営業損失は10億1百万円（前年同期は12億22百万円の営業利益）となりました。

セラミック事業

ディーゼル・パーティキュレート・フィルター（DPF）は、商品構成の変化及び円高の影響により、前年同期に比べ売上高は減少しました。

触媒担体保持・シール材は、自動車市場が堅調に推移したことにより受注数量は増加しましたが、円高の影響により、売上高は前年同期並みとなりました。

NO_x浄化用触媒担体（SCR）は、エネルギー関連向けの定置式用途製品が堅調に推移したことにより、前年同期並みの売上高を確保しました。

特殊炭素製品（FGM）は、引き続き厳しい市場環境のなか、拡販に努めたことにより、前年同期並みの売上高を確保しました。

以上により、セラミック事業の売上高は257億71百万円となり、前年同期に比べ5.5%減少しました。同事業の営業利益は、主力であるDPFの商品構成の変化及び円高の影響等により、9億62百万円となり、前年同期に比べ28.4%減少しました。

その他事業

化粧板関連販売部門は、引き続き住宅向けキッチン加工扉の市場回復力が乏しかったものの、トイレブース向けメラミン化粧板及び不燃化粧板の拡販に努め、売上高は前年同期並みとなりました。

住宅設備機器販売部門は、コンポーネント住宅の上棟数が増加したものの、賃貸住宅関係の販売減少により、前年同期に比べ売上高は減少しました。

法面工事部門は、繰越工事の減少と工期の遅延により、前年同期に比べ売上高は減少しました。

造園工事部門は、工事の早期完成（工期前倒し）により、前年同期に比べ売上高は増加しました。

石油製品販売部門においては、販売数量は増加しましたが、販売価格の下落により前年同期に比べ売上高は減少

しました。

合成樹脂加工部門は、スマートフォン市場の停滞や熊本地震による自動車市場への影響があったものの、一部自動車分野新車種の好調により、前年同期に比べ売上高は増加しました。

以上により、その他事業の売上高は137億21百万円となり、前年同期に比べ2.5%増加しました。同事業の営業利益は12億92百万円となり、前年同期に比べ13.7%増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ402億20百万円減少しました。主に有形固定資産が159億56百万円、受取手形及び売掛金が81億82百万円、投資有価証券が59億71百万円、現金及び預金が33億18百万円、有価証券が31億99百万円それぞれ減少しました。

負債では主に支払手形及び買掛金が72億31百万円、賞与引当金が20億53百万円それぞれ減少しました。また純資産は、為替換算調整勘定が減少したことなどにより、295億22百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期における業績は概ね計画どおりに推移しており、平成28年4月27日の決算発表時の業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	104,765	101,447
受取手形及び売掛金	57,578	49,396
有価証券	3,199	—
商品及び製品	12,758	11,822
仕掛品	9,900	9,815
原材料及び貯蔵品	14,445	12,702
繰延税金資産	2,211	2,218
その他	9,043	8,225
貸倒引当金	△290	△286
流動資産合計	213,612	195,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	87,738	81,305
機械装置及び運搬具（純額）	86,293	77,581
土地	19,143	18,947
リース資産（純額）	146	125
建設仮勘定	16,825	16,641
その他（純額）	5,780	5,372
有形固定資産合計	215,928	199,972
無形固定資産		
投資その他の資産	5,168	4,457
投資有価証券	39,060	33,088
長期貸付金	39	47
繰延税金資産	679	1,482
その他	1,935	1,817
貸倒引当金	△313	△317
投資その他の資産合計	41,401	36,119
固定資産合計	262,498	240,549
資産合計	476,110	435,890

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,668	27,437
短期借入金	30,065	30,065
1年内償還予定の社債	15,000	15,000
未払金	15,405	14,081
未払法人税等	1,715	758
繰延税金負債	1	85
賞与引当金	3,507	1,454
役員賞与引当金	69	—
設備関係支払手形	1,560	2,332
その他	11,750	12,982
流動負債合計	113,743	104,198
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	62	46
リース債務	101	85
再評価に係る繰延税金負債	68	68
退職給付に係る負債	464	389
繰延税金負債	3,683	2,668
その他	1,465	1,435
固定負債合計	30,845	29,693
負債合計	144,589	133,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,579	64,579
利益剰余金	188,598	184,352
自己株式	△18,302	△18,302
株主資本合計	299,028	294,781
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,477	8,190
繰延ヘッジ損益	197	—
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	15,469	△5,365
その他の包括利益累計額合計	28,304	2,984
非支配株主持分	4,187	4,232
純資産合計	331,520	301,998
負債純資産合計	476,110	435,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	74,276	65,505
売上原価	56,586	51,722
売上総利益	17,689	13,783
販売費及び一般管理費	13,930	12,529
営業利益	3,758	1,254
営業外収益		
受取利息	77	70
受取配当金	479	708
為替差益	843	-
その他	166	312
営業外収益合計	1,567	1,092
営業外費用		
支払利息	79	56
為替差損	-	1,187
休止固定資産減価償却費	906	2,124
その他	228	254
営業外費用合計	1,214	3,622
経常利益又は経常損失(△)	4,111	△1,276
特別利益		
固定資産売却益	2	157
投資有価証券売却益	2,136	-
その他	1	-
特別利益合計	2,140	157
特別損失		
固定資産除却損	636	111
関係会社整理損	6	-
その他	11	12
特別損失合計	653	124
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	5,598	△1,242
法人税等	2,753	275
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,844	△1,518
非支配株主に帰属する四半期純利益	47	66
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,797	△1,584

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,844	△1,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	139	△4,293
繰延ヘッジ損益	32	△197
為替換算調整勘定	6,438	△20,835
その他の包括利益合計	6,609	△25,326
四半期包括利益	9,454	△26,844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,406	△26,904
非支配株主に係る四半期包括利益	48	60

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,620	27,268	60,888	13,387	74,276	—	74,276
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	19	26	1,147	1,173	△1,173	—
計	33,627	27,287	60,915	14,534	75,449	△1,173	74,276
セグメント利益	1,222	1,344	2,566	1,136	3,703	55	3,758

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、建設、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額55百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への売上高	26,011	25,771	51,783	13,721	65,505	-	65,505
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	33	33	1,295	1,329	△1,329	-
計	26,011	25,804	51,816	15,017	66,834	△1,329	65,505
セグメント利益又は損失(△)	△1,001	962	△39	1,292	1,253	0	1,254

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材、建設、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

(重要な後発事象)

特記すべき事項はありません。